

下中地区まちづくり通信



人の繋がりで地域を元気にしよう

文化・教育分科会

① 8月4日(日)橋タウンセンターこゆるぎにて、講師に能登青少年交流の家所長である北見靖直氏をお招きし、「今こそ求められる地域活動、そして未来」とのテーマで講演会を行いました。

前半部では、能登地震の教訓や被災体験をとおした青少年との交流活動の報告。後半は、橋北地区で行われている登下校の見守り活動について着目され、地域の子どもの地域の人が見守ることの重要性について実践的観点でお話がありました。臨場感溢れるとても興味深い講演であり、参加者からは、「大人の本気、人間のやさしさ、子どもにたいしてだけでなく、人に対しての接し方を改めて感じさせられました」「子どもの笑顔はとても大事。地域はそこからよくなると実体験をとおして教えてもらえた」とい感想が寄せられておりました。



② 「みんなde草木染め体験！」

11月30日に行われた下中うっしーまつの1ブースとして出店。

うっしーまつりに来場する方々にご参加いただき、当初想定していた30名の定員を超える方が参加をされ、思い思いにハンカチによじれを作り、綺麗に染め上がったハンカチにここかしこに歓声があがっていました！昇降口ではこれも定番の「割れないシャボン玉」コーナーを設置。草木染めを終えた子どもも、そうでない子どもも分け隔てなく楽しく遊んでいる姿が印象的でした。



③ 1月26日(日)に中村原ふれあい広場にて開催された「みんなdeたこあげ！」。

参加者の飛ばす凧たちが澄み切った青空に映える大盛況のイベントとなりました。今年度も受付された方だけでも70名を超える参加者、保護者の方が参加され、思い思いに凧をあげ、振る舞われた甘酒や参加賞を手に笑顔で帰っていく姿が印象的でした。アンケートでもとても楽しかったという感想が多く、「小さい子たちも楽しんでいたので、もっと広めてもいいなと思いました」といった声もあり、より周知を拡げていきたいとの思いを強くいたしました。



④ 3月8日に行われた「ヒップホップdeダンス、ダンス、ダンス！」。

当日は雪交じりの寒々しい天気でしたが、そんな寒さも吹き飛ばしてしまうほどの元気いっぱいのイベントになりました！今回も、下中小出身のダンサー内田萌子さんをお招きし、10名の参加者は「ギリギリダンス」の振り付け苦戦しながらも、最後の前で披露。見ているこちらも踊りたくなってしまふの雰囲気でのイベントでした。



⑤ 登下校時の見守り

今まで登校時と下校時がそれぞれボランティアの取り持ちが分かれていましたが、本年の4月からまちづくり委員会文化・教育分科会が「下中小学校登下校見守り隊」として活動を継続していくことに。2月7日(金)下中小学校の会議室において説明会を開催。登校ボランティア、下校時見守り隊の双方が一同に会し、日頃からの活動状況や課題等について共有するよい機会とすることができました。

福祉・健康づくり分科会～「しもなかふれあい食堂」の取り組み

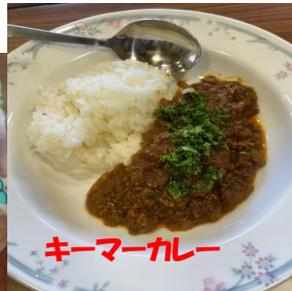
今年度にチャレンジした「しもなかふれあい食堂」は、「食を通じて世代間の交流」をテーマに「こども食堂」と「地域食堂」を合わせたコラボ企画としてスタートしました。事の始まりは、分科会の月1回の居場所づくり「ふらっとしもなか」で、委員から「子供食堂をやりたい」との一言に背中を押され、今年度の5月から運営を開始しました。

福祉・健康づくり分科会メンバーの多様な委員(包括たちばな、たちばなの里、健康おだわら普及委員、民生委員、主任児童委員、社協、ボランティアクラブ)に加えて、世代を超えた調理ボランティアさん、小田原市社協、市地域コミュニティに支えられ、最初の第1歩を4月末のプレオープンで踏み出しました。5月から毎月1回の活動を重ねており、食事の提供は月平均で当初の36食前後から、現在では平均で45食前後を提供しています。また、8月の夏休みには小学生と家族が増えて53食を、12月のクリスマスには72食を提供できました。

食事のお品書きは、甘口と辛口の「カレーライス」の単品メニューですが、8月から挽肉を使った「キーマカレー」が提供されており、会を重ねるたびに好評となり、今ではすっかり定番メニューになっています。食材は、新玉ねぎの季節は、地元特産の「しもなかたまねぎ」を生産農家さんからのご寄附で、お米を小田原市社協を通じフードバンクからのご提供、1月から小竹地区のお米の調達で、更に一部役員の食材提供と調理ボランティアさんのご寄附もあり食材調達の努力で賄っています。



小田原推進協議会から小田原産有機キウイフルーツのご提供



キーマカレー



調理ボランティアの皆さん

「ふれあい食堂」では、地産地商への関係づくりにも取り組んでいます。来年の新玉ねぎの収穫の時期には、地元下中産の食材での「カレーライス」や1月からは、小田原市観光課の「健やかな食の町おだわら協議会」からご支援をいただき小田原産「キウイフルーツ」が提供されました。このように「ふれあい食堂」は、地域内外の皆様を支えられています。私達は思考錯誤で運営を続けています。その活力は参加者の皆さんの笑顔、世代を超える和やかな光景が活動の原動力です。

これからもご支援とご協力を賜うことをお願い申し上げます。しもなかふれあい食堂は令和7年度にはSNS、ブログでの情報発信を予定しています。



しもなかふれあい食堂への参加は、右記 QR コードでお申込みください→

食品衛生管理を順守して準備をしています。食事の提供は、温かいを提供するために食券の引き換え方式で配膳しています。

7月のふれあい下中幼稚園児の参加で、楽しく七夕飾りの折り紙作成しました。



12月のふれあいウクレレクラブからクリスマスコンサートがプレゼントされました。



防犯分科会 防犯の抑止力強化の取組み

今年度の活動は、令和4年度に開始した地域防犯力強化を目的とする防犯カメラ設置・実証試験と防犯事情の検討の活動に取り組みました。令和5年度に地区内1ヶ所に設置した防犯カメラは、順調に稼働しています。

防犯カメラの設置は、地域の皆さんの安心と安全の見守りの役割が期待されています。また小学生や中学生の登下校の見守り、ゴミステーションの不法投棄監視、羽根尾工業団地への物流車輛の増加に伴う交通監視に有効です。地区内の防犯事情と交通事情は相互に関係しており、地域防犯指導員、下中駐在所、分科会の委員との間で、地区内の情報交換も分科会の活動になっています。また、分科会は、青少年健全育成会の「橋ブルーアイス」の活動を支援しています。



広報・しもなか通信分科会

- 44～49号発行
- 50号（4、5月版）編集発行
- まちづくり通信12号の編集
- 「たちきた3150広場」開設
（若者言葉でサイコー広場）

子供さんからの投稿を掲載するコーナーです。
QRコードを読み込むと、インスタグラムで
過去の記事を閲覧できます。（科長 高橋退仁）



@TACHIKITA_OFFICIAL



防災・減災分科会の取組み

～「防災ネットワーク協議体」の取組みについて～

日頃より地域の介護相談と介護支援でお世話になっている包括支援センターたちばな（以下包括たちばな）の課題に、災害時の要支援者（要介護者と要配慮者）の弱者避難があります。包括たちばなから災害時の避難方法とその支援者の在り方について地域に問題提起されました。今年度の活動は、年5回の会議を通じて風水害・土砂災害時の避難と避難支援者の取組みの絵姿を描きながら、地域へのお願いについて検討しています。民生委員の見守りの活動は災害時の弱者支援と密接に関係しています。小田原市健康福祉部の担当者から風水害・土砂災害時における弱者避難の取組みのお話を紹介していただき、当地区での取組のアドバイスを伺いました。この活動は、地区の広域避難運営と自主防災とも更に密接に関係しており、会議を重ねるたびにメンバーの多様な知見と経験により取組の問題と課題の整理と検討を進めています。

いつかは起こるであろうこの地区の災害で住民の避難に加え弱者避難とその支援について皆さんと一緒に考えて行きたいと願っています。

防災・減災分科会科員（中6、小船2）

～下中小学校4年生の防災授業の支援 防災倉庫の探検～

令和5年度に引き続き、今年度も4年生と一緒に広域避難所の防災備蓄庫の機材を学習する機会がありました（10月8日）。児童はグループに分かれて、メンバーで協力して興味のある機材を探して、タブレットで写真撮影をして、探したお宝（機材）が何かを考察して記載し、児童の「なに？」に答えることをお手伝いしました。子供の真剣な眼差しと子供の着眼点やその発想には、いつも眼を覚まされます。小学生の地域防災を考える心は遅しくもあり、これからの地域の防災を考えてくれるものと願っています。

小田原市一斉防災訓練

11月2日日曜日に一斉防災訓練が行われました当日は雨模様で屋内での活動のみとなりました。自衛隊の給水車の展示や防災倉庫の見学、非常トイレの設営などが行われました。連合自治会の費用で小船1区、中村原1区の有志や中学生によるたい焼きの炊き出しが行われました。



地域の話 公園 de ラジオ体操

包括支援センターたちばながフレイル予防(年齢とともに心身の活力(筋力、認知機能、社会とのつながり)の低下に伴う寝たきり予防と日常運動による身体維持)を目的に、地域住民への声をかけから始まった「公園 de ラジオ体操」をご存じですか？ 橋北地区では現在5か所の公園で、幼稚園児から高齢者までの誰もが何時でも参加できるラジオ体操を地域主催で実施しています。ラジオ体操やみんなの体操を子供から大人まで世代を超えて地域の皆さんと交流しふれあいを再発見しませんか？



毎週月曜日 10:00～ 中村原第二公園

令和2年7月から活動開始。体操後、オカリナ演奏とうたを歌っています。



毎週月曜日 10:00～ 小船永福公園

令和4年11月から活動開始。下中幼稚園児も一緒に参加して明るく楽しく体操しています。



毎週水曜日 10:00～ 中村原公園

令和3年6月から活動開始。広いスペースで皆さんと体操を楽しんでいます。皆さんの参加を楽しみにされています。



毎週木曜日 10:00～ 小竹南公園

令和2年8月から活動開始。多くの参加者が集まり、活気のある雰囲気体操を楽しんでいます。



毎週土曜日 8:00～ 中村原ふれあい広場

令和3年7月から活動開始。一番広いスペースで朝早い時間に集まって元気に体操されています。



Vol3



Vol9 part2

写真、YouTube 提供：社会福祉法人小田原市社会福祉協議会、包括たちばな

YouTube チャンネル：「たちばな公園 de ラジオ体操」

QR コードの Vol3: <https://www.youtube.com/watch?v=DslpLd15MFK>

QR コードの Vol9 part2: <https://www.youtube.com/watch?v=Fb0nZ2KeH4A>

下中地区まちづくり委員会では、

今後も、地域の課題解決に向け取り組みを進めて行きます。

発行：下中地区まちづくり委員会
広報・しもなか通信分科会
発行責任者：委員長 小林 功